

令和4年度 道徳授業公開 6年生

年 組	6年1組
教 材 名 (出展)	お母さんへの手紙 (東京書籍)
内容項目	生命の尊さ
あらすじ 話し合ったこと	<p><あらすじ></p> <p>重い心臓病で亡くなった佐江子さんが、十数時間に及ぶ手術に臨むことになった。その手術前に、14年間の感謝の気持ちと、手術に臨む気持ちを母へと書き記した。</p> <p><話し合ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐江子さんが「手術がんばろうね。」と書いたのは、どんなことを伝えたかったからか話し合った。 ・「命の大切さ」について考えていることや感じていることを話し合った。
児童の反応 (感想)	<p>佐江子さんがこの重い心臓病で亡くなってしまったことやこの手紙が最後の手紙になったと考えられることから真剣に生命の尊さについて考え、話し合う姿が見られた。児童の発言や書いたワークシートからは、過去に道徳で行った生命の尊さについて学習や日頃の人や動植物の命を大切にしないニュースなどのことにもふれ、考えを深めることができていた。また、10月5日に行った「赤ちゃんの力プロジェクト」で命の素晴らしさや一つの命が生まれることの奇跡について言及している児童が複数名いる等、学んだことを積み重ねて物事を考えられるようになってきていると感じた。</p>

